

第105回 全国高校野球 青森大会

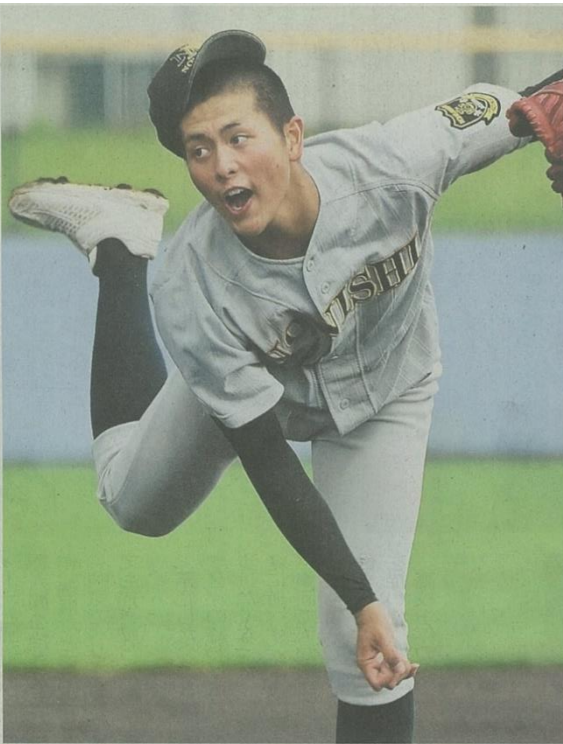
野辺西・樋口 1失点完投

青森 3失策響く

【評】野辺西が1点を追加した。試合を通過を守り切った。初回、2四球と敵失に乗じて1点を先制。四回にも幸田の適時内野安打などで2

点を追加した。試合を通過も取れずに降板。2番手の石田は8回を被安打1点と好投したが、タイムリエラーを含む3失策が痛かった。

◆1回に緊急登板、8回を投げ抜いた青森の石田（3年） 最初から投げるつもりで肩をつくっていたので慌てなかった。自分は球速よりも遅い変化球で打者のタイミングを崩すタイプ。夏に向けて持ち味をずっと磨いてきた。ヒットになりそうな当たりもバックが頑張ってくれて、自分も仲間を信じて投げられた。



心は熱く 頭は冷静 樋口

野辺西の主戦樋口が、再三のピンチをしのいで1失点完投。ロスコアの接戦で勝利の立役者となり、「強い気持ちでマウンド上がり、ただひたむきに腕を振って投げきった」と汗を拭いた。

「気合が入ると出てしまつた。時折声を上げながら、躍動感のあるフォームで最速143kmを誇る直球を投げ込んだ。6イニングで得点圏に走者を背負ったが、「要所でキアを一つ上げた」守備陣も無

失策でもり立て、最少失点で踏ん張った。2巡目からは「真つすべー」で倒れるとまじい」と変化球の割合を増やす戦略もずばり。心は熱く、頭は冷静に反撃をしいた。

佐井村出身で、「大間のマクロナど、新鮮な海の幸をいっぱい食べて、丈夫な体に育ててもらった」と笑つ石腕。3回戦では春の県大会で苦杯をなめた八工大と激突するが、「リベンジするためにトレーニングを積んできた。投手戦になると思うが、みんな勝ちにいきたい」と目をきらつかせた。（本田海輝）

【青森 野辺西】
青森打線を6安打
1点に抑え完投した
野辺西の主戦樋口
タイムベースボールスタジアム